

大阪維新府議パワハラ

8年前、松井氏に相談

大阪維新的会の笛川理府議(府議団代表を辞任)からパワハラ・セクハラを受けた同党的女性

大阪市議が8年前に、大阪維新的会の当時の幹事長だった松井一郎氏(4月に大阪市長を引退)に、笛川氏の「つきまとい行為」をやめさせようと相談していたことが明らかになりました。

大阪維新的会代表の吉村洋文府知事が24日、府庁内で記者団に語りました。

吉村氏によると、松井氏は、一部週刊誌で報じられたパワハラ・セクハラは松井氏による厳重注意以前のものだと

吉村氏によると、松井氏は、大阪維新的会の幹事長としていま横山英幸幹事長(大阪市長)が笛川氏と女性市議との勝負な(INEでの)やりとりを入手し調査中だが、「新

たといいます。これを受け、算外には公表せず、

か、整理した上で処分を

松井氏が笛川氏に厳重注意し、それ以降は「つきまとい行為」はないとの聞

判断したい」と述べました。ただ、党としてパワ

ハラ・セクハラ問題を知り、いざと述べました。

吉村氏は、大阪維新的会代表に就任月なぜ府議団代表に就任させたのかについての説明はありませんでした。

吉村氏は、大阪維新的会の議員全員を対象にパ

ワハラ・セクハラを受けたことがないか聞き取り調査をすると述べまし